

# 令和8年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和8年3月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	山崎 公司	<p><b>1 一般照明用の蛍光ランプLED化について</b></p> <p>【質問のねらい】 家庭向けを含む『一般照明用の蛍光ランプ』は、2027年末までに製造・輸出入が禁止される。水銀を含む蛍光ランプの国際的な廃止が決定、国内も2024年12月政令改正が決定している。そこで、蛍光ランプ廃止についての町の考え方を質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 町は、公共施設（学校も含む）や街路灯など、現在設置されている蛍光ランプのLED照明への切り替えについて、切り替えの計画があるか、コストやCO<sub>2</sub>削減効果、優先順位についてどのように考えているか説明を求める。</p> <p>(2) 当別町での影響とチャンスをとどのようにとらえているか。また、住民の不安ポイント①うちの蛍光灯はLEDに交換できるか②工事が必要なか③費用がどれくらいか、こうした疑問に答える地域版ガイドを作る等、どのように解消していくか。</p> <p><b>2 自動運転バスの現状と今後の展開</b></p> <p>【質問のねらい】 町内で自動運転バスの冬季運行の実証実験に取り組んでいる。3,000人に近い乗車があったと報道されている。現状の課題と今後の運行の実現について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 自動運転バスの冬季運行の実証実験に取り組み、全国でも数少ない豪雪地帯での自動運転バス実装モデルとして注目が高まっている。今回の実証での課題について伺う。</p> <p>(2) 本格導入に向けた今後の見込みについて伺う。</p> <p>(3) 移住・定住・交流人口の両面でどのような影響があると考えられるか。</p> <p>(4) 町内の経済や観光への影響をどのように見立てているか。</p>

2 番	芳形 幸夫	<p><b>1 新庁舎建設事業の今後の進め方と建設方式及び複合施設について</b></p> <p><b>【質問のねらい】</b></p> <p>新庁舎建設事業が当別町民に理解を得られるよう、今後の進め方と建設方式の安全性と複合施設について町に見解を質す。</p> <p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 新庁舎建設事業の今後の進め方について</p> <p>①基本計画への移行時期について</p> <p>基本構想策定後には、施設の規模や配置、機能、概算事業費などを具体化する「基本計画」の策定に進むものと考えます。この基本計画（案）は、いつごろ策定される予定か。またどの程度具体的な内容が示されるのか、町の見解を伺う。</p> <p>②基本設計への移行時期について</p> <p>基本計画の後には建物の具体的な形を定める基本設計段階に進むものとする。基本設計（案）の作成および決定はいつ頃を想定しているのか伺う。</p> <p>③住民への説明・意見聴取の機会について</p> <p>基本構想段階では住民説明会やパブリックコメントが実施されたが、基本計画段階・基本設計段階においても同様に住民説明会・パブリックコメント・意見募集を行う予定があるのか、実施する場合の時期や方法についての見解を伺う。</p> <p>(2) 建設方式（リース方式）の安全性について</p> <p>①この方式は初期投資を抑えられるが、長期にわたり支払いが続く仕組みであり、町民からは安全性や妥当性について不安の声が寄せられている。リース方式採用の理由について、財政面・事業期間・リスク分担などの観点からの町の見解を伺う。</p> <p>②安全性とリスク認識について</p> <p>リース方式では、長期契約による拘束・金利変動・事業者の経営状況・契約解除時の対応・総支払額の増加などのリスクが考えられる。町としてこれらのリスクをどのように認識し、どのような対策を講じる予定なのか町の見解を伺う。</p> <p>③具体的な事例について</p> <p>住民説明会では、リース方式の事例はあるとの説明があったと聞くが、同規模自治体における採用事例・庁舎建設での具体的事例・成功例および課題例・導入後の財政負担の実態について示すこと、それらの事例が当別町の条件にどの程度適合するのかについて町を考えを伺う。</p> <p>(3) 複合施設（文化ホール）について</p> <p>①将来的に財政負担となる懸念について</p> <p>町民からは、財政負担につながるのではとの声がある。ライフサイクルコスト（LCC）の試算、試算に伴う判断基準、将来の修繕・設備更新への備えの考え方がどうなのか町の見解を伺う。</p>
-----	-------	---

3 番	角田 広佑 (資料有り)	<p><b>1 フェーズフリー防災を念頭においた災害対策の推進</b></p> <p>【質問のねらい】</p> <p>日常（平時）と非常時（災害時）の境目をなくし、「備えない防災」を念頭に置いた「フェーズフリー防災」の考え方について、町長の考えを伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 平常時と災害時の境目をなくし、普段使っているモノやサービスをそのまま災害時にも活用する「備えない防災」という考え方として、「フェーズフリー防災」という概念がある。普段使いを意識した防災の考え方について、町長の考えを伺う。</p> <p>(2) 一般家庭における備蓄では、ローリングストックによるフェーズフリー防災が推進方法のひとつだが、町としての備蓄においてもその考え方が必要であるとする。町長の考えを伺う。</p> <p><b>2 ICT教育推進における成果と課題</b></p> <p>【質問のねらい】</p> <p>GIGAスクールを柱としたICT教育推進開始から5年が経過した。現場において見出された成果と、現状の課題、今後の展望について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) GIGAスクール構想では1人1台端末によるICT教育の推進がなされたが、町の児童生徒にはどのような効果が見られたか。</p> <p>(2) 一方で担当教員の能力による指導内容の差異、児童生徒の健康問題、端末の紛失や破損といった課題が見いだされた。現在把握している物理的な課題は何か。</p> <p>(3) 加えて、SNSによるトラブルや、セキュリティ、授業中の「ながら」使用等、児童生徒に対するネット社会特有の問題について、町はどのように把握しているか。</p> <p>(4) 1人1台端末を配布する時期は適切とお考えか。</p> <p>(5) 昨今の欧米諸国において、紙の教科書を使用し、手書きでの教育への回帰する動きがある。今後の町におけるICT教育の方針はどのようにお考えか。</p>
-----	-----------------	---

【計3人、1時間30分（1人30分計算）】